

問1 室町時代には農業技術が大きく進歩し、土地の生産力が高まりました。この時代に西日本を中心に全国へ広まった、同じ耕地で1年間に米と麦を交互に栽培する農法と、当時普及した肥料の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2022年 和歌山県公立入試 類似)

1. 二毛作と、草木を焼いた灰などの肥料	2. 二毛作と、油かすや干鰯などの購入肥料	3. 三毛作と、牛馬の糞尿を用いた肥料	4. 輪作と、化学的な成分を含む肥料
----------------------	-----------------------	---------------------	--------------------

問2 現代の消費生活において、消費者トラブルの内容やその原因を社会全体で共有することの主な目的として、最も適切なものはどれですか。 (2014年 和歌山県公立入試 類似)

1. 個々の消費者が抱えるトラブルを、企業との話し合いだけで個別に解決すること	2. トラブルの原因となった商品を大量に生産し、市場の混乱を収束させること	3. 特定の企業の情報を隠すことで、その企業の経済活動を支援すること	4. 同様のトラブルが広がるのを防ぎ、新たな被害を未然に防止すること
---	---------------------------------------	------------------------------------	------------------------------------

問3 江戸幕府は1825年から1842年にかけて、外国船への対応を「強硬な排除」から「人道的な支援による緩和」へと転換させました。この転換の背景にある国際情勢の説明として最も適切なものはどれですか。 (2026年 和歌山県公立入試 類似)

1. アメリカのペリー艦隊が来航し、武力による開国を強く迫られたため。	2. アヘン戦争で清がイギリスに敗北したことを知り、軍事的な衝突を回避しようとした。	3. 清仏戦争の影響により、フランスが東アジアへ進出することに協力するため。	4. 日清戦争の結果を受けて、清の国力が衰退したことを確認したため。
-------------------------------------	--	--	------------------------------------

問4 明治政府が、欧米列強に対抗できる近代国家をつくるために掲げた、経済を発展させて国力をつけ、軍隊を強化するという基本方針を何といいますか。 (2014年 和歌山県公立入試 類似)

1. 富国強兵	2. 殖産興業	3. 大政奉還	4. 文明開化
---------	---------	---------	---------

問5 1467年に京都を中心に発生し、約11年間続いたことで幕府の権威を失墜させ、戦国時代の幕開けとなった戦乱について、その直接的なきっかけとなった出来事として正しいものはどれか。 (2024年 和歌山県公立入試 類似)

1. 8代将軍足利義政のあとつぎ問題や、有力な守護大名の家督争い	2. 後醍醐天皇による建武の新政に対し、足利尊氏が反旗を翻したこと	3. 地方の武士たちが年貢の取り立てに反対し、一斉に蜂起したこと	4. 鎌倉幕府を倒した後の功績を巡り、北条氏と源氏が対立したこと
----------------------------------	-----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------

問6 江戸時代の経済活動において、全国の諸藩が年貢米や特産物を売りさばくために「蔵屋敷」を設置し、物資が集まる商業の中心地として「天下の台所」と呼ばれた都市はどこですか。 (2024年 和歌山県公立入試 類似)

1. 大阪	2. 京都	3. 江戸	4. 堺
-------	-------	-------	------

問7 1931年の柳条湖事件から始まった満州事変と、その後の日本の国際的立場について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2025年 和歌山県公立入試 類似)

1. 学徒出陣によって動員された学生たちが中心となって柳条湖事件を引き起こしたことで、軍部による政治支配が急速に強まった。	2. 柳条湖事件は中国軍による軍事行動であったと国際連盟に認定されたため、日本は国際社会の支持を得て満州国の建国を強行した。	3. 柳条湖事件の直後に日本は真珠湾を攻撃し、満州国の建国を承認させるために国際連盟に対して軍事的な圧力を強めた。	4. 関東軍が自ら線路を爆破した柳条湖事件を機に満州全域を占領したが、国際連盟が派遣したリットン調査団の報告書で日本の行動が認められなかったため、日本は国際連盟を脱退した。
---	--	---	--

問8 東経135度を標準時とする東京から、西経120度を標準時とするバンクーバーにいる友人に電話をかけることにしました。東京の時刻が「1月1日の午後1時」であるとき、バンクーバーの現地時刻として正しいものはどれですか。 (2021年 和歌山県公立入試 類似)

1. 1月2日の午前6時	2. 12月31日の午後8時	3. 12月31日の午前8時	4. 1月1日の午前6時
--------------	----------------	----------------	--------------

問9 1920年代後半の日本の政治状況において、1925年に制定された治安維持法が果たした役割や目的として、最も適切な説明を選びなさい。 (2025年 和歌山県公立入試 類似)

1. 満25歳以上のすべての男子に選挙権を認め、国民の意見を政治に反映しやすくすること	2. 天皇を中心とする国体を変革しようとする運動や、私有財産制度を否定する共産主義運動を取り締まること	3. 自由民権運動を抑え込むために、政府に批判的な人物を東京から追放し、集会を制限すること	4. 日中戦争の長期化に備え、労働力や物資を政府の命令一つで強制的に動員できるようにすること
---	---	---	--

問10 季節風が日本の気候に与える影響について、日本海側の特色を述べたものとして正しいものはどれか。 (2018年 和歌山県公立入試 類似)

1. 夏に北西からの季節風が吹き込むため、一年を通して気温が低く保たれる。	2. 夏に南東からの季節風の影響を強く受け、降水量が少なくなる。	3. 冬に北西からの季節風が山脈を越えてくるため、乾燥した晴天が続く。	4. 冬に北西からの季節風の影響を強く受け、降水量が多くなる。
---------------------------------------	----------------------------------	-------------------------------------	---------------------------------

問11 大航海時代において、ポルトガルがアフリカ大陸南端を回るインド航路を開拓しようとした背景と目的として、最も適切なものはどれか。 (2026年 和歌山県公立入試 類似)

1. イスラム勢力などの仲介を通さず、香辛料を安く直接手に入れるため	2. アメリカ大陸にある銀山を支配下に置き、大量の銀を調達するため	3. シルクロードを通る陸上貿易を強化し、アジアの特産品を輸入するため	4. 大西洋を西回りに進むことで、地球が球体であることを証明するため
------------------------------------	-----------------------------------	-------------------------------------	------------------------------------

問12 明治政府が行った地租改正の仕組みと、その際に発行された「地券」について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 和歌山県公立入試 類似)

1. 土地の所有権を認める地券を交付し、収穫量ではなく地価を基準とした税を現金で納めさせた。	2. 地券を所有する農民に対し、従来の年貢と同様に、その年の収穫高に応じた量の米を納めさせた。	3. すべての土地を国家のものとする公地公民の原則に基づき、地券を持つ者にのみ土地の利用を許可した。	4. 江戸時代の株仲間のような特権を与え、その見返りとして商人に地券を発行し連上金を徴収した。
--	---	--	---

答え合わせ・解説

問1	答え 1 二毛作と、草木を焼いた灰などの肥料	室町時代には、灌漑施設の整備や品種改良が進んだことで、夏に米、冬に麦を作る二毛作が全国的に普及しました。また、生産量を増やすために、草木を焼いた「草木灰（そうもくはい）」や、草を土に埋めて腐らせた「刈敷（かりしき）」などの自然由来の肥料が広く使われるようになりました。江戸時代に一般的になる油かすなどの購入肥料とは区別が必要です。
問2	答え 4 同様のトラブルが広がるのを防ぎ、新たな被害を未然に防止すること	一人の消費者が経験したトラブルは、同じ商品やサービスを利用する他の多くの消費者にも起こる可能性があります。そのため、行政機関などが情報を集約して社会全体に発信することで、被害の拡大を食い止めるとともに、新たな被害者が生まれるのを防ぐ「未然防止」の役割を果たしています。個別の解決にとどまらず、社会的な仕組みとして共有することが重要です。
問3	答え 2 アヘン戦争で清がイギリスに敗北したことを知り、軍事的な衝突を回避しようとした。	江戸幕府が1842年に「異国船打払令」を廃止し「天保の薪水給与令」を発したのは、アヘン戦争で清がイギリスの圧倒的な軍事力の前に敗れたことに衝撃を受けたためです。このまま強硬な追い払い政策を続けると、日本もイギリスなどと戦争になり、清と同じような運命をたどる恐れがあると判断し、衝突を避けるための外交的な譲歩を行いました。
問4	答え 1 富国強兵	明治維新後、日本が欧米列強による植民地化を避け、対等な立場を築くために掲げた国家目標です。国の経済を豊かにして財政を安定させる「富国」と、近代的な軍備を整える「強兵」を一体として進めることが目指されました。
問5	答え 1 8代将軍足利義政のあとつぎ問題や、有力な守護大名の家督争い	応仁の乱は、8代将軍足利義政の後継者争いに、守護大名の細川氏と山名氏の対立が結びついたことで発生しました。この戦乱により室町幕府の支配力は大きく低下し、実力のある者が上の地位の者を倒す「下剋上」の風潮が広まる戦国時代へと移り変わっていきました。
問6	答え 1 大阪	瀬戸内海などの海運を通じて全国の商品が集まった大阪は、経済・商業の拠点として発展しました。諸藩は領内の産物を貨幣に換えるため、大阪に蔵屋敷を置いて取引を行いました。これに対し、政治の中心地である江戸は「将軍のお膝元」、伝統工芸や文化の中心地である京都は「京の都」と呼ばれ、それぞれ役割が分担されていました。
問7	答え 4 関東軍が自ら線路を爆破した柳条湖事件を機に満州全域を占領したが、国際連盟が派遣したリットン調査団の報告書で日本の行動が認められなかったため、日本は国際連盟を脱退した。	柳条湖事件は関東軍が自ら仕掛けたものでしたが、これを中国軍の仕業として満州事変を開始しました。日本は清朝最後の皇帝である溥儀を立てて満州国を建国しましたが、国際社会はこれを認めませんでした。国際連盟がリットン調査団の報告に基づき日本の撤兵を勧告する決議を採択したため、日本は1933年に連盟脱退を表明し、国際的な孤立を深めていくことになりました。
問8	答え 2 12月31日の午後8時	東京（東経135度）はバンクーバー（西経120度）よりも17時間時刻が進んでいます。したがって、バンクーバーの時刻を求めるには東京の時刻から17時間を差し引く必要があります。1月1日の午後1時（13時）から17時間を戻すと、前日の12月31日の午後8時になります。日付変更線を越えて時刻が戻る点に注意が必要です。
問9	答え 2 天皇を中心とする国体を変革しようとする運動や、私有財産制度を否定する共産主義運動を取り締まること	治安維持法は、1925年に普通選挙法と並行して制定されました。選挙権を拡大する一方で、政府にとって脅威となる共産主義者や社会主義者の活動を制限することが目的でした。後にこの法律は強化され、言論弾圧の手段として広く利用されるようになりました。
問10	答え 4 冬に北西からの季節風の影響を強く受け、降水量が多くなる。	日本海側の気候の最大の特徴は、冬の降水量の多さにあります。これは冬特有の北西の季節風が、水分を蓄えた状態で直接吹き込むためです。対照的に、太平洋側ではこの季節風が山脈によって遮られ、水分を落とした後の乾燥した風が吹くため、冬は晴天が多く乾燥する傾向にあります。このように、季節風と地形の組み合わせが日本の地域ごとの気候差を生み出しています。
問11	答え 1 イスラム勢力などの仲介を通さず、香辛料を安く直接手に入れるため	当時、コショウなどの香辛料は肉の保存や薬用としてヨーロッパで極めて高い需要がありましたが、イスラム商人とベネチアなどの商人によって仲介されるため、非常に高価でした。ポルトガルは自国の船で直接インドへ向かうルートを確立することで、この仲介手数料を省き、貿易の利益を独占しようと考えました。
問12	答え 1 土地の所有権を認める地券を交付し、収穫量ではなく地価を基準とした税を現金で納めさせた。	地租改正では、地券によって土地の所有権を明確にすると同時に、税率を「地価の3%（のちに2.5%）」と決めました。収穫量（豊作・不作）に左右される米による納税ではなく、地価を基準とした現金での納税（金納）に変更したことで、政府は天候に関わらず毎年一定の予算を組むことができるようになりました。